

## 自己点検表

2024年5月31日更新

### 1. 教員個別表

フリガナ    カ    ケン 氏    名    賈    軍	職    名    教授 人間学部 グローバル・スタディーズ学科	取 得 学 位    博士( 経済学 ) (大学名) 立正大学    (取得年月) 2003年3月
-------------------------------------	-------------------------------------	--

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
レジュメと PowerPoint による授業	2021年4月～	「経済学」の授業において、身近な生活現象を取り上げて作成したレジュメを配布し、それをテキストとして活用している。
中国語検定4級合格者8名、準4級合格者6名	2022年11月	中国語検定試験に対応できる語学力を養成するため、集中トレーニングを行い、DVD教材等を使用し、生の中国語に触れることで聴解力を強化した。

#### (2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] 1. 「中国の SOx 排出量とエネルギー経済の課題」古賀弘義編著『日本産業と中国経済の新世紀』	共著	2004.3	唯学書房	古賀弘義他 18名		245-258 頁
2. 「山西省における公共財政システムの建設に関する研究」張改枝・原玉廷編著『山西経済問題研究』	共著	2009.4	山西経済出版社	王效梅・賈軍		256-268 頁
3. 「山西省における大学生の就業の財政支援策に関する研究」趙満華・楊素青編著『山西民生—労働就業と収入分配の研究』	共著	2011.7	経済科学出版社	賈軍・王效梅		58-69 頁

4. 「転換期における山西省地方財政の役割に関する研究」張改枝編著『転換期に迎える山西省の持続可能な経済発展』	共著	2012.3	中国財政経済出版社	賈軍・王效梅		44-50 頁
[論文]						
1. 「中国における二酸化硫黄抑制政策の基礎的検討-山西省の火力発電所に関する脱硫装置普及の課題」	単著	2006.2	仙台白百合女子大学紀要 第 10 号			41-52 頁
2. 「黄河流域における持続的成長の可能性—水資源確保に関する提言」	共著	2009.9	実践経営学研究 No.1	賈軍・浅野浩子		39-47 頁
3. 「黄河流域における水資源の需給と今後の課題」	共著	2010.9	実践経営学研究 No.2	賈軍・浅野浩子		13-18 頁
4. 「中国の石炭産業による環境汚染とその対策—SO2 排出量を中心に」	共著	2013.1	仙台白百合女子大学紀要 第 17 号	賈軍・浅野浩子		189-194 頁
5. 中国における「PM2.5 問題」の現状とその対策	単著	2015.2	仙台白百合女子大学紀要 第 19 号			55-64 頁
「その他」						
「大きな政府による国有企業の躍進と民間企業の衰退」	共著	2011.1	合作経済と科学技術第 408 期	賈軍・王效珍		100-101 頁
翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
1.黄河流域における持続的成長の可能性—水資源確保に関する提言	2009年9月	(実践経営学会・第52回全国大会)
2.黄河流域における水資源の需給と今後の課題	2010年9月	(実践経営学会・第53回全国大会)
3. 中国の石炭産業による環境汚染とその対策—SO2 排出量を中心に	2012年7月	(実践経営学会・第55回全国大会)
4. 中国のエネルギー事情とPM2.5の問題に関する研究	2013年11月	(実践経営学会・第13回東北支部会)
5. 中国における自動車排気ガス起因による大気汚染PM2.5の問題について	2014年7月	(実践経営学会・第14回東北支部会)
6. 中国における「PM2.5問題」の現状とその対策	2014年8月	(実践経営学会・第57回全国会)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本マネジメント学会	会員	2013年4月～現在に至る
アジア経営学会	会員	2003年4月～現在に至る
東アジア産業研究会	会員	2000年4月～現在に至る
実践経営学会	会員	2009年4月～現在に至る

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

### 3. 特記事項

--